

ラーニング・サポーター ♪ 11月のつぶやき -JWUラーニング・コモンズさくらより-

図書館 2 階 JWU ラーニング・コモンズさくら(以下「さくら」と略)では、学科・専攻推薦を受けたラーニング・サポーター(本学大学院生)が学修相談を受け付けます。学修相談以外にもミニ講座の開催や「さくら」の活動支援をしながら、感じたこと、思ったことを「つぶやき」、本学学生の皆さんに学修相談に訪れてもらいたいと思っています。ラーニング・サポーターは「さくら」で皆さんをお待ちしています！

<11月のつぶやき♪INDEX>

p1 将来になりたいもの @MA.(人間発達学専攻博士課程後期3年) 11月10日 tweet

つぶやき1 ♪ 将来になりたいもの

10月から12月にかけてのこの時期が一年の中で一番好きだ。暑すぎず寒すぎず、花粉も虫も飛んでいない。ちょうどハロウィンが盛り上がる辺りからである。

大人になった今はハロウィンだからといって何をするわけでもないが、子どもの時はそれなりに楽しみな行事だった。通っていた英語教室や小学校の授業で「トリックオアトリート！」と言ってお菓子をもらった記憶がある。あとは幼稚園の運動会。ちょうど時期が10月だったこともあり、それぞれが「将来になりたいもの」の仮装をして園庭を練り歩く(パレードのような)プログラムがあった。女の子はドレスを着てプリンセス、男の子は戦隊ヒーローというのが定番で、私も毎年何かしらのプリンセスキャラクターのドレスを着せてもらった。

王道ではない仮装の子は目立っていて、自分がどんなドレスを着ていたのかは全く思い出せないのに、そういう子たちのことは覚えている。例えば、電車の運転士の仮装をした男の子がいて、手作りの制服を着て段ボールで作った電車をかぶって歩いていた。園バスの運転手さんバージョンの子もいたと思う。それから、毎年警察官の仮装をしていた女の子の友達もいた。手作りの警察帽子や制服を着こなしていたのを覚えている。彼女は本当に警察官になったらしい。

珍しかったから今でも印象に残っているわけだが、それだけではなく、「になりたい職業」がちゃんとある子たちが子どもながらにかっこよく見えたから、というのもあると思う。その時だけの「将来の夢」だったとしても、好きなものが明確な子たちがまぶしかった。自分は友達と一緒に歩くのが楽しかっただけで、プリンセスキャラクターがそんなに好きなわけでもなかったのだから、余計にそう感じたのだと思う。もちろん、準備は親がするわけで、かけられる時間も人それぞれ、頭を悩ませるおうちも多かったのだろうと今は思う。

そういえば、弟の仮装も印象に残っている。3年間、毎年ディズニーキャラクター「くまのプーさん」の着ぐるみを着て歩いていたからだ。弟は子どものころ本気で「プーさんになりたい」と言っていて、当時の私は「変なやつ」と鼻で笑っていたが、今ならわかる。「“何もしない”を一生懸命する」プーさんみたいな生き方は最高だと思うし、弟は今でもなりた職業ナンバーワンだと言う。

**人間生活学研究科 人間発達学専攻
博士課程後期3年(児童学)**

「教職は両立できるかな」「卒論のテーマが決められない」「進路はどうしよう」
ちょっと誰かに聞いてもらいたいな...という学習の悩みが出てきたときは
ぜひお声がけください！相談者の方と一緒に考え、答えを見つけるサポートをします。

● 資格
保育士
幼稚園教諭
小学校教員



● 研究分野
子どもの人間関係
(幼稚園等で観察調査)